

町会報

えひめ

2015

3

Vol.72

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



Contents

県市町振興協会理事会・評議員会	2~3
随想 板尾喜雄松野町議会議長	4
県町村監査委員協議会第15回定期総会	5
四国地区町村議会議長会会長会	5
町の伝統行事	6~7
一筆	8
3月の行事	8
編集後記	8

久万高原町

「岩黒山のアケボノツツジ」

石鎚山系 岩黒山(1,746m)は、高知県と愛媛県との県境に位置し、山頂からは石鎚連峰が一望できます。4月中旬～5月中旬ころには淡いピンク色のアケボノツツジが咲き、訪れた人の目を楽しませてくれます。

(撮影：2014.5.13 岩黒山から石鎚山を望む)

平成27年度事業計画・予算を決定

県市町振興協会 理事会・評議員会

【第2回定例理事会】

公益財団法人愛媛県市町振興協会（理事長・白石勝也松前町長）は、平成26年度第2回定例理事会を2月27日（金）午後2時51分から「愛媛県自治会館」において開催した。

会議の出席は、白石勝也・菅良二（今治市長）・三好勝利（松前町議会議長）・渡部明忠（愛媛県町村会事務局長）の各理事及び信夫秀紀（愛



理 事 会

媛県市町振興課長）・矢野巧（愛媛県市長会事務局長）・酒井啓司（税理士）の各監事、田窪出納役等。

白石理事長から招集あいさつの後、議長には定款により白石理事長が充たり、事務局から議案説明及び報告が行われ、いずれも議決及び了承された。

また、愛媛県市町連携事業助成事業へ助成要望のあった「坊っちゃん劇場子ども芸術体験サポートシステム後援会への助成について」を協議し、平成27年度も助成することを了承し、助成額は補正予算の対応とした。

なお、提出された議案及び報告は次のとおり。

◆議 事

第1号議案

平成27年度事業計画について

第2号議案

平成27年度収支予算について

第3号議案

平成26年度第3回臨時評議員会の開催について

◆報 告

第1号報告

職務執行状況について

◆その他

愛媛県市町連携事業助成事業について

【第3回臨時評議員会】

公益財団法人愛媛県市町振興協会（理事長・白石勝也松前町長）は、平成26年度第3回臨時評議員会を3月25日（水）午前10時29分から「愛媛県自治会館」において開催した。

会議の出席は、白石理事長・清水裕（大洲市長）・上村俊之（上島町長）・瀧野志（久万高原町議会議長）・安田俊一（松山大学経済学部教授）・柏原準（愛媛県町村議会議長会次長）



評 議 員 会

の各評議員及び信夫秀紀（愛媛県市町振興課長）・矢野巧（愛媛県市長会事務局長）・酒井啓司（税理士）の各監事、渡部常務理事等。

白石理事長から招集あいさつの後、議長には定款により瀧野評議員を議長に選出し、議事録署名人に清水裕・柏原準の両評議員を指名。

議長は、議案審議に入り、事務局から議案説明が行われ、いずれも承認を得た。

さらに、評議員の辞任に伴う補欠選任については、定款により候補者の賛否を諮った結果、全員異議なく次の者を評議員として選任することを決定した。

松岡 一誠（今治市議会議長）

なお、提出された議案は次のとおり。

◆議 事

第1号議案

平成27年度事業計画の承認について

第2号議案

平成27年度収支予算の承認について

第3号議案

評議員の辞任に伴う補欠選任について

平成27年度事業のあらまし

～ 市町村振興宝くじの収益金等を活用し、愛媛県内20市町の振興に寄与 ～

公益財団法人愛媛県市町振興協会

当協会は、市町財政の厳しい環境に配慮し、的確な財政運営を実施していくとともに、市町の公共施設整備事業等への資金融資、市町振興事業に対する助成及び人材育成のための研修等、次に掲げる事業を行います。なお、市町村振興宝くじ販売促進事業については、関係団体の協力を得ながら行う。

事業名	事 業 内 容
資金貸付事業	(1) 長期貸付事業 貸付予定枠 30億円 貸付対象事業 愛媛県知事と協議し同意又は許可を受け、あるいは届出をしている一般会計債の事業とする。 貸付条件 貸付利率 本協会基金等貸付細則附則第2条の規定の特例として、政府資金の貸付金利を基準とし、政府資金の貸付利息以下の率で理事長が定める貸付利率とする。 最近の貸付利率 平成26年度 0.1% 平成25年度 0.3% 平成24年度 0.3% 償還方法 半年賦元金均等償還 償還日 9月17日及び3月17日 償還期間及び据置期間 12年以内うち据置期間2年以内 貸付日 平成27年5月25日、平成28年3月24日 (2) 短期貸付事業 貸付対象事業 当該年度内に行う必要がある緊急的な公共事業や災害防止対策事業 貸付条件 貸付利率 本協会基金等貸付細則附則第2条の規定の特例として、政府資金の貸付金利を基準とし、政府資金の貸付利息以下の率で理事長が定める貸付利率とする。 償還方法 一括償還証書貸付 貸付期間 単年度貸付（年度内償還）
交付金の交付事業	(1) 市町交付金 予算額 236,288千円 平成27年度オータムジャンボ宝くじ収益金を愛媛県が協会に交付する愛媛県交付金を財源として市町へ交付する。 (2) 基金交付金 予算額 257,464千円 サマージャンボ宝くじ収益金をもって愛媛県が協会に交付する愛媛県交付金を積み立てる基金積立金を財源として市町へ交付する。 ----- 交付金の対象事業は、地方財政法第32条に規定する事業で、交付を受けた市町は、市町が必要とする当該事業に充当する。
成事業 市町振興助	(1) 市町連携事業助成事業 (2) 市町の振興に伴うイベント等助成事業 (3) 情報セキュリティ監査助成事業 (4) メンタルヘルス対策事業助成金 (5) 災害見舞金
研修事業 市町職員等	(1) 愛媛県研修所での研修事業 (2) 市町職員外国語研修事業 (3) 公会計改革研究事業 (4) 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）及び全国市町村国際文化研修所（国際文化アカデミー）の受講に係る助成 (5) 関係団体研修事業等に係る助成
事業 情報提供	(1) 愛媛県市町要覧の発行 (2) 市町振興のための資料配付 「地方財政要覧」、「市町財政」等 (3) 地域づくり情報誌発行事業 「舞たうん」、「えひめイベントBOX」
その他	市町関係団体等への助成（愛媛県市長会・愛媛県町村会を經由） ① 一般財団法人地域活性化センター年会費 ② 日本貿易振興機構（ジェトロ）愛媛貿易センター運営負担金 ③ 松山空港利用促進協議会負担金

◎ 平成27年度市町村振興宝くじ発売概要

	サマージャンボ宝くじ	オータムジャンボ宝くじ
発 売 期 間	7月8日(水)～7月31日(金)	9月28日(月)～10月16日(金)
抽 選 日	8月11日(火)	10月23日(金)
発 売 額	1,020億円(前年度1,050億円)	390億円(前年度同額)

随 想

「弧掌難鳴」
こしょうなんめい

―何事も一人で成し遂げることはできない―

松野町議会議長 板尾 喜雄



「たった一人の反乱」それは、8年前の1月19日、合併問題で町民が二分し騒然とした中での、町長不信任の決議が端緒が始まった。

数日後、町長の解散権が行使され、一期4年間のうちに3度目の出直し選となり、住民投票により隣町との合併を唱える町長派と目される派閥の大勝となった。当時私は、住民に責任を転嫁しようとする町長の意図には同意できず、一人選良としての責任を訴え戦ったが、見事後塵を拝したのである。

爾来、二期8年間は、初選後4年に満たない僅かな議員経験から、希薄ではあるが地方自治の本旨にふれ、町政に対する視野にも変化を感じつつ、生来、一本気で曲がったものの嫌いな性格は、得をしたことがない。

このような環境が災いし、不適切と見込んだ会計処理、先送りや責任逃れと見受けられる非効率な行政執行を糾すべく、10指に近い直接請求やそれでも埒が明かず行政訴訟を繰

り返した。

結果は一部監査員や担当者への入れ替わりでお茶を濁すくらいで、本道の改善に功を奏したためしはない。それどころか、不信任や殺伐とした雰囲気広がるのみで、先人達が築いた多くの伝統に帰依することなく、無為に過ごした訓戒のみが残ったのである。

ところで本年正月、地元選出の議員として、永年町政の発展に寄与された先輩が、任期満了に伴う一般選挙の1ヶ月前に、突然辞意を表明されたことに端を発し、地域の先輩役員による、後任擁立への動きが始まった。

特に高齢化が進み限界集落となつて久しい私の地区にとつて、この機を逸しては地域代表としての議員擁立は困難との焦燥感もあり、自らも区役員とともに、必死の奔走を続けたが、自薦を含め、議会活動への理解は得られなかった。

人口300人余り、高齢化率55%の当地区は、住民相互の助け合い支援なしでは、地域社会の存続が困難な状況であり、現在かろうじて維持存続されている、小学校、農協(委託店)、隔週1日診療の医療機関も、統廃合の動きが囁かれ住民の不安は日増しに募る中、ついにその的が私に当てられ周章狼狽し悩んだ末。

先年胃の摘出に耐えながら生きていた妻の「私のことはいいから…」の、

一言が告示1週間前での決断となり、それは、予想も過去の経験にも全くない、大勢の方の熱烈な支援のもとでの、僅か旬日の選挙戦となったのである。

4300人を切る小さな町、その中で定数7名での議会運営、被選挙権の抑制ともとれる候補者制限、待たなしの地方創生総合戦略、その激しい競争に打ち勝つ体制の確立等々、選挙期間中に訴えた「開かれた議会」、「魅力ある議会」であつてこそ、住民の強い期待に応えられると訴えた選挙の結果は、予想をはるかに超える支持を得て、二期8年の虚空を超え、喜寿を過ぎての信任を得ることになったのである。

この3月、はからずも議長の重責をいただくことになり、新年度へ向けての礎が無事築かれたことに、この稿をお借りし改めて関係各位に衷心より感謝を申し上げたい。

二元代表としての一翼を担う立場で、森の国まつりの「ふるさと創生」を期した特別委員会の設立、委員会審査の公開に向けた、議会の自発的な取り組みは、議会改革をめざす町民との接点として、進めて参りたい。「弧掌難鳴」は、独善に走る戒めとしていただいた言葉である。肝に銘じてつとめたい。



▶ 森の国ホテル



▶ 蔵生 遊鶴羽の棚田



▶ 滑床溪谷 雪輪の滝



▶ JR予土線松丸駅



▶ 虹の森公園

▶ 松野町を走る
日本一遅い新幹線

▶ ホタルの畦道

第15回定期総会を開く

県町村監査委員協議会

県町村監査委員協議会第15回定期総会は、3月27日えひめ共済会館で、県下町監査委員及び補助職員ら25人が出席して開催された。

総会は、渡部事務局長の司会で進められ、小島副会長（愛南町代表監査委員）の開会のことばに続いて、片岡会長（内子町代表監査委員）があいさつを述べた。

続いて表彰に入り、影浦砥部町代表監査委員に表彰状及び記念品を贈呈。

次いで、来賓の知事（石丸総務部管理局长代理出席）及び三好県町村議会議長会会長職務代理者副会長から祝辞が述べられた。また、急遽、公務のため出席できなかった白石県町村会長からは懇篤なメッセージが寄せられた。

次いで議事に入り、片岡会長が議長となつて会議録書名人に猪上久万高原町代表監査委員と上甲鬼北町代表監査委員を指名したあと、次のとおり議事が進められた。

新議長紹介

3月3日の松野町議会定例会において議長の選挙が行われ、板尾喜雄氏が就任された。

松野町議会議長

板尾喜雄氏



決 議

われわれ監査委員は、厳しい町財政の中、行政に対する住民の信頼を確保し、透明性のあるものとしていくため、日々研鑽を積み努力を重ねている。

しかしながら、町における監査体制は、その課せられた義務と責任を十分に果たすには厳しい現状にある。

このため、研修、事務局体制の充実強化をはじめ、監査活動費の確保等、監査機能の充実強化が緊急の課題である。

本日ここに、愛媛県町村監査委員協議会第15回定期総会を開催するに当たり、われわれ監査委員は、相互の緊密な連携のもと、町における監査機能の充実と監査体制の強化に向け、組織を挙げてまい進することを表明する。

以上、決議する。

平成27年 3月27日

愛媛県町村監査委員協議会第15回定期総会

(1) 報告第一号 会務報告

一同了承。

(2) 認定第一号 平成25年度決算

事務局から説明があり、一同了承。

(3) 議案第一号 平成27年度事業計画

画

(4) 議案第二号 平成27年度歳入歳

出予算

以上の2議案を一括議題とし、事務局から順次説明。一同異議なく議決された。

(5) 議案第三号 決議

小島副会長が別掲の決議を朗読し満場の拍手でこれを採択。

最後に同副会長が閉会のことばを述べて総会の幕を閉じた。

四国地区町村議会議長会

会長会を開催

3/23 高松市で

第172回四国地区町村議会議長会会長会が、3月23日香川県自治会館で、四国4県の会長及び事務局長らが出席して開催された。

会議はまず、地元香川県の蓬会長、次いで四国地区会長の村田高知県会長のあいさつに始まり、規約の定めにより蓬香川県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。

まず、会議録署名人に次期開催県の村田高知県会長を指名した後、次のとおり議事が進められた。

議 事

1 平成27年度各県事業計画及び予算について

各県事務局長から、資料に基づき説明があり、意見交換を行った。

2 各県提出議題について

① 第56回四国地区町村議会議長会研修会について（徳島県）

② 全国町村議会議長会の役員人事について（高知県）

③ 四国四県町村長・議長大会について（香川県）

以上の3題について各県局長から問題提起があり、各県ごとに状況説明し、意見交換を行った。

3 次期四国地区会長の選任について

大西徳島県会長が会長に選出された。任期は4月1日から1年間。

4 次期四国地区会長会の開催について

次回は高知県で開催することを決定した。

町の伝統行事

内子町



いかざき大風合戦

● 場所／五十崎豊秋河原

● 実施時期／5月5日(火)

【概要】

県無形民俗文化財に指定され、約400年の歴史があるいかざき大風合戦、「ががり」という刃物をつけて風糸を切りあう勇壮な風合戦や、子ども達の健やかな成長を願う「出世風」、風の大きさが約13mと迫力満点の100畳風など、さまざまな風が数多く空に舞います。



内子笹まつり

● 場所／内子本町商店街

● 実施時期／8月6日(木)～8日(土)

【概要】

愛媛のまつり50選にもなっている、旧暦の七夕の日に行われる伝統のまつりです。一抱え以上もあるくす玉とわっか、その下につけられる吹き流し、細かい折り紙や輪つなぎなど、丁寧な手仕事光ります。

約1kmの商店街に約70本の笹飾りが並び、趣向を凝らした飾りをのれんのようにくぐりながら鑑賞できます。また笹踊りでは、約30チームの踊り連が参加し、踊りの優雅さを競います。



小田燈籠まつり

● 場所／小田中央商店街

● 実施時期／7月25日(土)

【概要】

燈籠まつりは、平家の落人伝説にちなむ先祖供養の夏祭りです。小田に逃れて、この地で亡くなったと伝えられている平清盛の五女「登貴姫」に扮した人に乗せた牛車、だんじりみこし、絵燈籠、稚児行列、太鼓台、踊り連などが商店街を練り歩き、歴史絵巻を漂わせる雰囲気のあるまつりです。

クライマックスでは、小田川に千個を超す燈籠が流され、清盛寺住職による供養の読経が流れます。

松 前 町



【概 要】
まさき町夏祭りのイベントの一つとして、はんぎり競漕を塩屋海岸で開催しています。
はんぎり競漕は、海上に大きな「たらい」を浮かべ、体を前後に動かして漕ぐことで前に進み、その速さを競う全国的にも珍しい競技です。文禄年間に漁夫が、伝馬船代わりに「はんぎり」という木

はんぎり競漕（まさき町夏祭り）

●場所／塩屋海岸

●実施時期／毎年8月第1土曜日



のたらいを使い、競って沖を漕ぎ渡ったことが由来とされ、古くから松前の海の伝統行事として守り継がれてきました。大きなたらいを巧みに乗りこなし勇ましく漕ぎ進む姿は、松前町の夏の風物詩となっています。児童のほかにも一般の部の参加もあり、多くの歓声を集めています。

伊 方 町

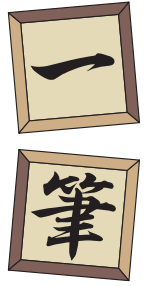


きなはいや伊方まつり

●場所／伊方町湊浦

●実施時期／7月26日(日)

【概 要】
毎年恒例となっている町内最大のイベントです。
地元の特産品などを販売するきなはいや市場や子どもすもう伊方場所、キャラクターショー、魚のつかみ取り、伊方おどりなど数多くの催しの他、イベントのラストには約4,000発の花火で締めくくります。



ポジティブに

三寒四温の中で、桜開花のたよりが順々に届いて来る。透きとおるような真つ青な空をバックに桃色から白色の桜花、春到来である。風にハラハラ揺れながら散り、落下する花びら、無粋な男であろうと何となくロマンを醸し出してくれる不思議さがある桜の花。日本人好みの花見の良さが解かるような気がする。

さて、世界で今まで起こった地震の中で5本の指に入る地震M9が、日本列島の土台を大きく揺らした東北・関東大地震、東日本大震災から4年が経った。

『人間は忘却を常とする』先人の言葉があるが、この大地震は忘れられるものではなからう。宮古市田老に構築されていたあの世界各地から視察に訪れていた巨大な防波堤が効果なく、無抵抗？に近い無残に破壊された津波のエネルギーの物凄さを凝縮した姿は、現実である。

震災による死者1万5891人、行方不明者2584人、関連死3千人以上。未だ避難生活者22万9千人。仮設住宅に約8万人が住む。

方々、道路や鉄道の復旧、土地の高上げなど進められているが、諸般事情があつて遅々なのか、早急なのか。ただ被災者の心の回復はまだまだまだ程遠いようだ。被災地から

何百何千と離れていようが、桜花の情緒が分かる日本人ならば、忘却の言葉は当てはまらないであろう。是非とも皆が一丸となって東北地方が元の生活に戻るよう頑張らねばならない。

M3以上の有感地震は、列島で昨年一年間に6000回以上の発生である。今後、何処の地域が大震災に襲われるか分からない。中でも東京直下型地震がささやかれ、南海トラフ巨大地震の発生率も極めて高い。一方、地殻変動とともに火山噴火の発生が、今、富士山をはじめとして実しやかに取り沙汰されている。中でも九州中部での巨大噴火は、死者約1億人想定とも仄聞する。

そこまで広がると、その被害に日本経済のみならず列島自体そのものが、沈没してしまいような感じになる。さらに世界経済も危ういものとなる。いやいやネガティブな妄想から流言蜚語に値するようなものは、で終わりにしたい。因みに九州中部の巨大噴火の発生確率は、1000年以内に1%と注釈がある。それよりも今日の集中豪雨や雷、強風、洪水、理由不明な凶悪事件、諸外国での紛争に巻き込まれない工夫を考え、ポジティブに日々の営みをしたいものだ。

ただ常に、自然災害に対する危機意識と1週間分の自分自身で生活可能な備えはしておいたほうが賢明で、自助の意識を持つ事は大事。

「たくさんの事を生半可に知っているよりは、何も知らない方が良い」
(ニイチェ ドイツの哲学者)

3月の会と催し

- ▽1日 平成27年大洲市消防出初式
- ▽2日 平成26年度全国町村下水道推進協議会愛媛県支部研究会、平成26年度水道事業推進等研究会、平成26年度水産業振興対策事業推進等研究会
- ▽3日 均等割分の「都道府県別市町村数」の取扱いに係る意見交換会、全国町村会長・会長職務代理者打合せ
- ▽4日 愛媛県過疎地域自立促進協議会定期総会、愛媛県人権協会定期総会、平成26年度市町職員研修会(愛媛県人権協会)、地方創生フォーラム
- ▽5日 都道府県町村会政務担当職員研修会(6日まで)
- ▽9日 愛媛県市町振興協会長期貸付申込受付、自治労要望運動
- ▽10日 愛媛県畜産協会平成26年度第2回理事会
- ▽11日 平成26年度ダム所在・発電関係市町振興事業推進等研究会、平成26年度山村振興等事業推進等研究会
- ▽12日 愛媛県農林漁業振興機構第3回理事会
- ▽15日 平成27年西条市消防観閲式
- ▽16日 愛媛県つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会第1回常任委員会、愛媛県建設業審議会
- ▽17日 平成26年度第3回愛媛県障害者施策推進協議会及び愛媛県障害者自立支援協議会
- ▽18日 内外情勢調査会松山支部懇談会
- ▽19日 地方分権有識者会議、日本下水道事業団評議員会
- ▽20日 都道府県市町村振興協会事務局長会議、(公社)愛媛県浄化槽協会第2回検査事業委員会、(公社)愛媛県浄化槽協会第22回理事会
- ▽23日 第172回四国地区町村議会議長会会長会、四国4県町村議会議長会事務局長並びに担当者会

編集後記

卒業式のシーズンですね。卒業式の歌と言えば、僕の時代は「仰げば尊し」に決まっていた。今こそ「別れめえ」なんて歌いながら感極まったものです。小学生なので、文語で意味も分からないのに、なぜなんだろうと不思議なことに、今でもそうした場面にでくわし、別れを惜しんで涙を流す小さな子供たちの姿を見ると、ぐつときてしまうんです。

「別れる後にもおろやよ忘るなあ」

昨年3月の編集後記のコピペ。今年も同じことを繰り返します。「会うは別れの始め」と申します。年度末を迎え多くの人たちに異動があつたことでしょう。

「さようなら」は、「左様ならば」。そういうことであるならば、本当は別れたくないけれど、どうしてもそうならなければいけないのだから由來だそう。皆さん、また会う日までお元気で。「別れは出会いの始まり」です。乾杯！

- ▽24日 愛媛県市町村振興財団定時評議員会
- ▽25日 愛媛県市町村振興協会平成26年度第3回評議員会、平成26年度清掃事業推進等研究会
- ▽26日 全国町村会政務調査会財政委員会、同全体会議、全国町村会正副会長会、第49回海外地方行政調査説明会、意見交換懇談会
- ▽27日 中央教育審議会生涯学習分科会(第76回)、愛媛県町村監査委員協議会第15回定期総会
- ▽30日 愛媛県市町各種事業協議会定期総会、愛媛県農業会議第101回(創立60周年)通常総会、愛媛県農業会議3月定例常任会議員会議
- ▽31日 愛媛県町村議会議長会平成26年度第5回定例会